

## 被災地エリアから支援カンパの御礼 ＝国労営業分科全国連絡会＝

国労営業分科全国連絡会が10月22日から23日にかけて東京都南部労政会館で開催されました。

22日は、14時から第19回交流会があり各エリア本部からの報告では北海道や西日本から災害による全国からの支援カンパの御礼がありました。各エリア報告では職場の委託化や合理化等の報告がありました。報告終了後3ヶ所に分かれ分散会がありました。22日の交流会が終了後、懇親会があり酒を飲みながら親睦を深めました。

23日は、9時から第19回総会があり、前日の分散会報告があり職場の問題点や組織拡大や各エリアの業務等の報告がありました。分散会報告後 各エリアの委員よりエリアの報告があり九州からは委員による組織拡大に頑張る等の決意を発表しました。12時に総会は終了しました。(島田徹)



【全国のエリアからの参加者、東京都南部労政会館】

## 原子力船むつ寄港阻止闘争40年集会 長崎県平和運動センター・佐世保地区労が主催

「原子力船むつ寄港阻止闘争40年集会」が10月27日、佐世保市勤労福祉センターで開催されました。

1978年10月に原子力船むつが放射能漏れに伴う修理のため佐世保に入港して40年が経過した事を受け長崎県平和運動センターと佐世保地区労が主催しました。

佐世保地区労と平和運動センターから挨拶があり、長崎県評元事務局長で長崎県高間連会長の矢島良一さんが原子力船むつ寄港阻止闘争40年を記念し「7年間の闘いの軌跡」と題して講演を行いました。矢島さんは、むつが佐世保に来た経緯や闘争

にあたっての義務カンパをお願いしたこと、陸上でのジグザグデモや海上での3時間に及ぶ抵抗を行ったことなどむつが出港するまでの7年間の闘争を振り返り、反戦運動の伝統を語り継ぎ、今出来る運動を考えて誇りある運動を受け継いでもらいたいと若い人に訴えました。



【傘下の組合員約100人が参加(岩崎、島田)】